

GDP と生活の豊かさ 1. 基本的な用語の説明  
GDP の意味を適切に理解するためには、少し準備が必要である。

## I. GDP とは何か

- A. 生産の指標であることは大体分かる。
  - 1. GDP: Gross Domestic Product (国内総生産)
  - 2. GNP: Gross National Product (国民総生産)
- B. しかしなお、不明確な点が残る。
  - 1. 生産とは何か。
  - 2. 生産量をどのように測ったか。

## II. 基本的な用語

- A. 経済
  - 1. 多数の人が集まって作る，人の組織である。
  - 2. 自然環境に働きかけ，われわれの欲求を満たすものを調達するための組織である。
  - 3. そのための意思決定は，2つの原理に支配されている。
    - a. 2つの原理
      - (1) 1つの意思で全経済を統一する。
      - (2) 構成員個々独立の意思に任せる。
    - b. 2つの原理の共存
      - (1) 経済内に，小さい組織が多数存在する．経済単位
        - (a) 経済単位内は，意思の統一がある。
        - (b) 経済単位は，たがいに独立である。
      - (2) 1経済単位は，2つの意思決定に従っている。
        - (a) 全体の統一的な意思に従う（例：課税，政府規制など）
        - (b) おのおの独自の意思に従う（例：消費，投資など）
- B. 財と用役（サービス）
  - 1. 定義
    - a. 欲求充足にとって有用なもの
    - b. 物質であるものと，働きであるもの
  - 2. 財の分類
    - a. 単用財と耐用財：1回の使用で使いつくされるか否か
    - b. 自由財と経済財：人々の欲求に対して十分豊富か否か
    - c. 取引される財と取引されない財
      - \* 「取引されない財」には，経済行為の対象とならない財のほかに，1つの家計あるいは企業内で生み出され，その家計あるいは企業内で使われる財がある。
      - \* b と c の分類は用役（サービス）についても考えられる。しかし，自由財に対応する用役は，実際には稀であろう。

## C. 量の測定

1. フロー量：時間の長さに関連して大きさが定まる量
  - a. 分かりやすい例  
水槽に流れ込む水の量，移動する車の進む距離
  - b. 経済学における例  
生産量，消費量，投資量，所得
2. ストック量：時間の長さに関連せずに大きさが定まる量
  - a. 分かりやすい例  
水槽に貯まった水の量，車の位置
  - b. 経済学における例  
資本ストック，貨幣流通量，資産額，人口

## D. 生産

交換を通じて他の経済単位の欲求を充足する行為

any activity directed to the satisfaction of other people's wants through exchange.

[John R. Hicks (1952), p. 21.]

- \* この定義は，普通に漠然と考えられる「生産」の概念より，ある面で広く，ある面で狭い．生産とは，財を造り出すことだけではない．財の移動（運輸），仲介（商業）も，この意味で生産である．さらに，人のために役立つ労働をすることも生産である．他方，一つの家計内で消費されるために財を造る行為，また家計内の労働は，この意味では生産ではない．
- \* 「生産」をもう少し広く捉え，欲求充足のための準備の行為とする定義もある．

## 参考文献

John R. Hicks (1952) *The Social Framework: An Introduction to Economics*. Oxford: Clarendon Press. 2nd edition. (酒井正三郎訳『経済の社会的構造』東京：同文館，第2版，昭和29年，第4版，昭和47年)